



『あい 永遠に在り』
高田 郁／著 角川春樹事務所



貧しい家に生まれ苦学しながらも徳島藩の侍医まで務めた幕末期の蘭方医・関寛齋(1830-1912)。しかし70歳を過ぎて奮起し北海道の開拓に尽力、その名は道東・陸別町の祖として今も語り継がれています。生涯寛齋を支え続けた妻・あいの視点から描かれた、ふたりの絆の物語です。

『死ぬまでに行きたい！
世界の絶景 新日本編』
詩歩／著 三オブックス



一度は訪れたい47都道府県の素晴らしい絶景が楽しめる写真集です。絶景を訪れるための最適な季節や予算、周辺のグルメが分かる旅行ガイドも掲載されています。新型コロナウイルスによる行動制限が緩和された今、絶景制覇にチャレンジしてみたいかがでしょうか。

挑 戦

暖かい春がやってきました。新年度が始まるなど、一年で最も変化のあるこの時期、フレッシュな気持ちで何か新しいことに挑戦してみませんか。

『宇宙飛行士選抜試験
ファイナリストの消えない記憶』
内山 崇／著 SBクリエイティブ



宇宙飛行士になるという夢を叶えるべく、10か月に及ぶ過酷な選抜試験を経験した著者による、挑戦とその後の長い葛藤の記録です。ファイナリスト10名にまで残り、夢まであと一步のところまで扉を閉ざされてしまった著者の次なるチャレンジに注目です。

『ギブ・ミー・ア・チャンス』
荻原 浩／著 文藝春秋



この短編集に登場するのは、どこか残念な人たち。元力士、元CA(キャビンアテンダント)、演歌歌手、漫画家アシスタント、ゆるキャラの中の人など8人。夢見た世界から脱落しかけてはいるけれど、それぞれが精一杯人生に挑みかかる姿は滑稽ながらも力強く、わずかな希望を掬い上げます。

Pick up

長岡市の移動図書館車

米百俵号の活動

初代ながおか号(1952年)



グリーンに鮮やかな真紅のラインが目印

長岡市の移動図書館車は図書館から遠い地域の人々に本を届けるため、今から71年前の昭和27年11月より運行を開始しました。初出動は山通地区。約600冊の本を届けました。

参考資料:『自動車文庫の十年』長岡市立互尊文庫／編



ながおか号に集まる人々

2代目(1963年)



3代目(1969年)



4代目(1978年)



5代目(1991年)



米百俵号(2002年)



米百俵号(2009年)



∖ 現在はこの2台で運行中! ∕

現在運行中の米百俵号は、約2,000冊の本を載せています。小説や実用書の他に、児童書や大活字本など幅広い年代の方が楽しめるラインナップとなっています。車体には長生橋と各地域のマスコットキャラクターが描かれています。

米百俵号2号車 (2006年)

名称を「ながおか号」から、人づくりの大切さを説いた小林虎三郎の「米百俵の精神」を表す「米百俵号」と改称しました。

2006年には青色の2号車加わり、2台体制での巡回を開始。市内全域に活動の場をひろげました。

長岡を象徴する花火がデザインされていました

米百俵号ミニは令和4年4月に運行を開始しました。絵本や図鑑、育児書など、約500冊を載せ、主に保育施設を巡回しています。車体のデザインは、市民の皆様の投票で決定しました。

米百俵号(2015年～)



米百俵号ミニ(2022年～)

7月に^{れきしぶんしょかん}歴史文書館としてリニューアル開館します

～文書資料室だより～

文書資料室は、長岡市史編さん室の業務と所蔵資料を引き継いで平成10年4月に開室しました。以来、25年間、互尊文庫2階に閲覧室を設けて、市域の歴史文書(古文書等、歴史公文書)を保存・活用するアーカイブ(記録資料の保管施設)としての活動を行ってきました。

令和5年度、文書資料室は互尊文庫の「米百俵プレイス ミライエ長岡」への移転にあわせて、旧サンライフ長岡の建物に移転します。リニューアル開館は7月1日、新しい名称は長岡市歴史文書館(れきしぶんしょかん)です。1階には閲覧・展示室、図書室、講座室を設け、2・3階には歴史文書の収蔵スペースを整備します。

過去と現在の記録を後世に伝える文書資料室の取り組みは、新しい施設へと引き継がれます。近くの中央図書館とともに、郷土長岡の歴史に関する調査・研究、そして、学習の場として開館する歴史文書館を是非ご利用ください。

(田中洋史)



▲旧サンライフ長岡(長倉西町)

○文書資料室休館のお知らせ

移転準備のため下記のとおり休館します。ご理解のほど、よろしくお願いいたします。

◆休館期間:令和5年6月30日(金)まで

◆休館中の連絡先

電話:0258-36-7832

FAX:0258-37-3754

mail:rekibun@city.nagaoka.lg.jp

◆事務室:〒940-0849 長岡市長倉西町458-7

◆リニューアル開館の情報は

HP等をご覧ください

▶ 詳しくはこちら



中央図書館所蔵資料紹介 No.176

たちばな ち かげ まんようしゅうりゃくげ
橘 千蔭 『万葉集略解』

江戸時代のロングセラー

「万葉集」は、今からおよそ1200年前の奈良時代末期に編まれた、4500首余を収める日本最古の歌集です。内容は宮廷歌や相聞歌(恋愛歌)、死を悼む挽歌、防人歌など、様々な種類があります。作者をみると、天皇や貴族を中心に、農民、読み人知らずまで多彩です。

今回は、そんな「万葉集」を江戸時代に普及させた橘千蔭(加藤千蔭、1735～1808)の注釈本(版本)を紹介します。

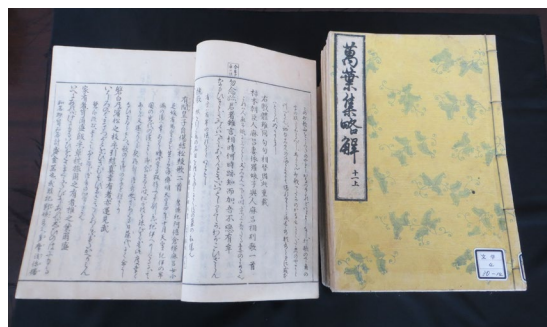
幕府の役人であり歌人である彼は、古典に通じ、歌会を開いては流麗な和歌を詠みました。また絵画や狂歌にも秀で、特に書道では「千蔭流」として一家を成した程です。

退職後、老中・松平定信の「寛政の改革」によって、100日間の謹慎を命じられますが、この境遇に屈することなく、寛政3年(1791)から『万葉集略

解』の執筆を始めます。そして文化元年(1804)、全20巻を幕府に献上するとその業績が認められ、千蔭は幕府から褒賞を授与されました。

本書はこれより版を重ね広く流布し、さらに活字本が明治時代にできると昭和初期に至るまでその出版は続いたのです。

(小熊よしみ)



『万葉集略解』20巻(30冊)

☆ 4月1日(土)～5月7日(日)中央図書館エントランスギャラリーで展示します。



中央図書館の臨時休館について

トイレ等改修工事のため休館します。

◆期間：6月12日(月)～6月30日(金)

※予約図書は受け取れます(月曜日及び6/30(金)を除く)。

ご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

団体貸出を利用しませんか！

保育園、コミュニティセンター、福祉施設やサークル、民間の事業所など10人以上のグループで利用できます。中央図書館(館外奉仕室)のほか、希望される各地域図書館(西・南・北・中之島・寺泊・栃尾)に事前に電話連絡のうえ申込書を提出してください。

・貸出冊数及び貸出期間

中央図書館：200冊まで 6か月

地域図書館：100冊まで 1か月



絵本、紙芝居、小説、実用書、大活字本など豊富に取り揃えており、書棚からそれぞれのお好みでお選びいただけます。

おはなし会の休止について

中央図書館で行っている「おはなし会」は6月30日(金)までお休みいたします。

「図書館の窓から」の発行回数について

令和5年度から年間発行回数を今までの4回(4月・7月・10月・1月)から3回に変更します。

●変更後の発行月日

4月1日、7月1日、11月1日

レファレンス・サービス (調べもの相談)

～そうだ、図書館にきてみよう！～



図書館では調べものの解決に役立つ本や、統計データを探すお手伝いをしています。図書館に寄せられた相談事例の中からご紹介いたします。

Q 戊辰戦争や太平洋戦争後、復興する長岡の街の様子がわかる写真や地図、資料などがあったら見せてほしい。

A 戊辰戦争の復興について書かれた本は太平洋戦争に比べるとやや少ないものの、どちらも戦後の様子について書かれた資料はいくつかあり、次の本をご紹介しました。

①『戦災都市の復興』(長岡市史双書 No.7)
長岡市史編集委員会現代史部会／編 長岡市

戊辰戦争後の街並みの変化、太平洋戦争後の復興計画と事業実施から完工までの経緯が解説されています。

②『長岡城ものがたり』
「長岡城ものがたり」編集委員会／編
牧野公奉賛会

戊辰戦争後の長岡城跡の開発について片山翠谷の画「長岡城址の図」とともに示されています。

③『写真集ふるさとの百年 長岡』
新潟日報事業社出版部／編 新潟日報事業社

長岡空襲直後の街、人々の様子が写っている写真が掲載されています。

